

日産：なみえスマートモビリティ



2021年2月より 日産自動車は福島県の3つの自治体（浪江町、双葉町、南相馬市）とパートナー企業7社と共同で、新しいモビリティを活用したまちづくりを目的とした「なみえスマートモビリティ」プロジェクトを実施している。日産自動車は、このモビリティサービスにより住民や訪れる人々のために、人口密度の低い地域においても持続可能なモビリティサービスの構築・実現を目指している。

2022年からはサービス圏内の乗降ポイントを 200か所以上に増やし、利用者が徒歩1分圏内で停留所に到着することが可能となり、利便性が向上。さらに、このサービスには新たなスマホアプリを開発し、お年寄りはもちろん誰もが迷わず目的地の選択ができる検索機能を構築。移動ルートはAI技術を活用した効率の良いルートを自動で選択するほか、人の移動だけでなく宅配サービスも合わせた貨客混載の検証にも取り組んでいる。

この日産自動車のモビリティサービスにおいて、ITKエンジニアリングはパートナーとして以下のサポートを実施しています:

- サービス圏内に200か所以上の乗降ポイントを調査・検討・設置。これにより、利用者が徒歩1分圏内で停留所へ到着することが可能に。
- サービス車両のドライバー管理業務（常務前・終了時の健康状態・酒気帯び有無など）
- お客様からの情報や、ドライバー運転時の危険遭遇などの情報共有と改善業務。
- 運航データやデジタルタコメータのデータ情報から、安全上の事象発見や効率の良い運航管理、車両副愛などのコンサルティング実施
- サービス車両の維持管理、安全対策、設備メンテナンス業務

→ 詳細については、日産自動車の[press release](#)をクリックしてご確認ください